

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。（建築基準法施行令第93条）

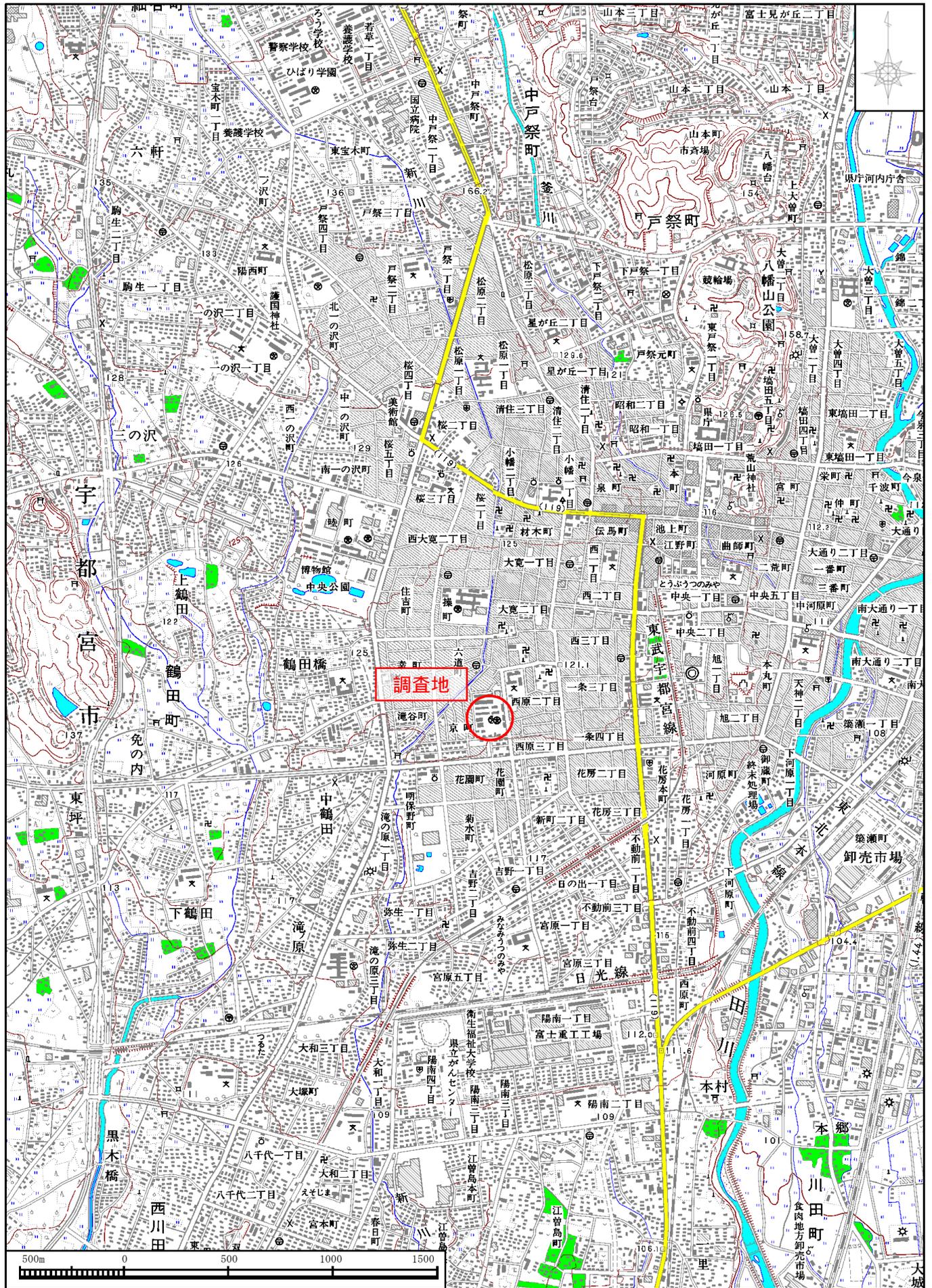
地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県県土整備部建築課

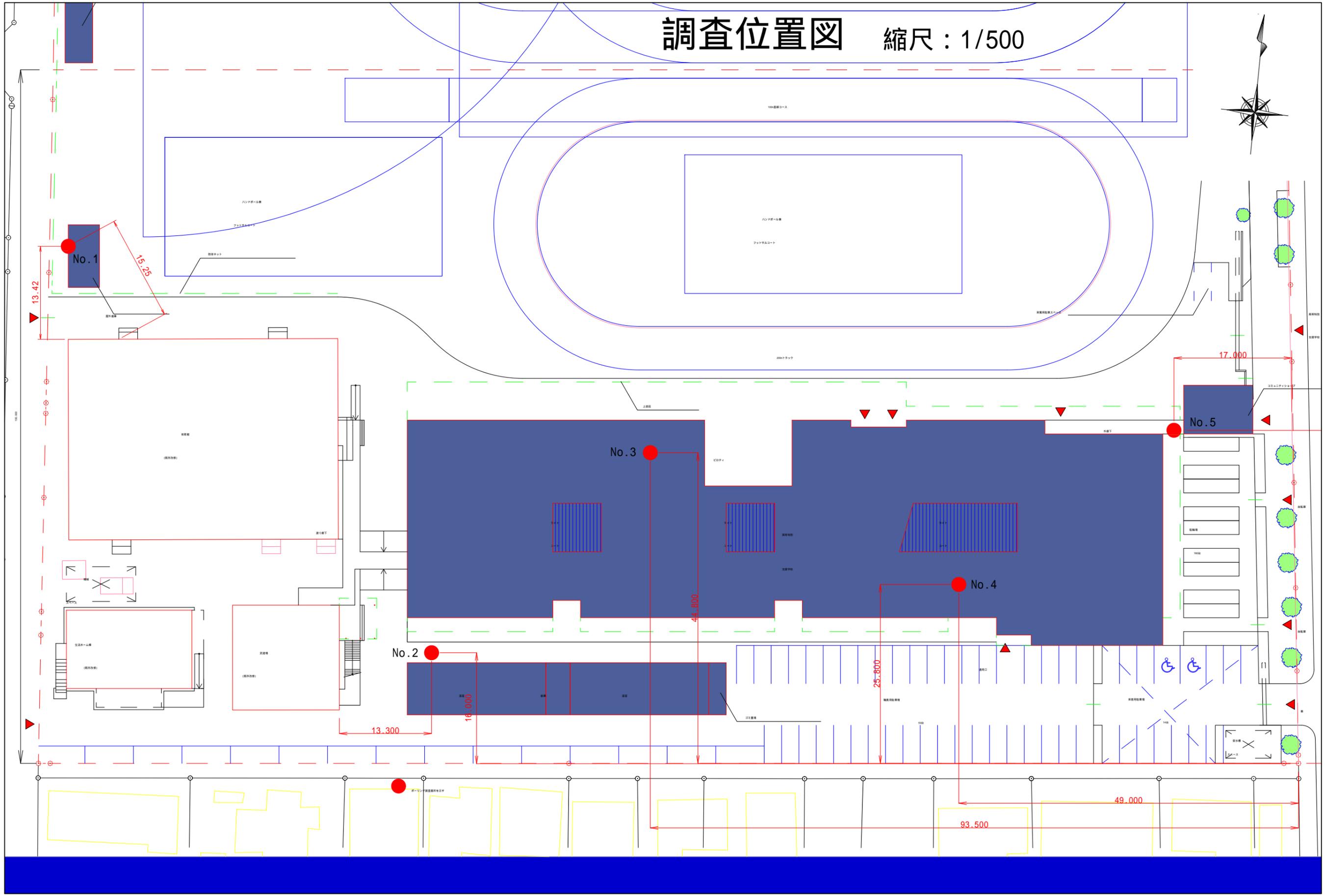
調査地案内図

縮尺 S=1 : 25,000



[日本地図センター発行数値地図25,000「宇都宮西部」「宇都宮東部」より引用]

調査位置図 縮尺：1/500



ボーリング柱状図

調査名 設計委託 高等特別支援学校新築工事 (地質調査)

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	宇都宮市京町			北緯	36° 33' 8.3"					
発注機関	栃木県			調査期間	平成 25年 2月 12日 ~ 25年 2月 14日		東経	139° 52' 14"					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者						
孔口標高	120.71m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験機	TOHO-D0-D LxS0	ハンマー 落下用具	半自動型ハンマー	
総掘進長	10.45m	度	0°	向				エンジン	NS-8	ポンプ	BG-3CL		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 番号	採取 方法	室内試験 ()	掘進 月日	
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)								
1	119.71	1.00	1.00		盛土	暗黒褐			礫・シルトの混合土 含水低位 所々コンクリート片混入する 不均質な層相を呈する		1.15	1/20	1	2/30	2		1.15	1	○				
2	118.11	1.60	2.60		ローム	茶褐		軟らかい 中位の	有機物・スコリア等多量に混入する 含水中位 粘性中位 下部に従い軽石多量に混入する		1.45				5		1.45	2	○				
3	117.11	1.00	3.60		軽石	黄褐		非常に軟らかい	鹿沼軽石 粒径2~5mm程度 含水高位 若干の風化帯びる		2.15	1	2	5/30	5		2.15	2	○				
4	115.71	1.40	5.00		ローム	茶褐		軟らかい	有機物・スコリア等多量に混入する 含水中位 粘性中位 下部に従い砂多量に混入する		2.45				1		2.45	3	○				
5											3.15	1/30		1/30	1		3.15	3	○				
6											3.45				2		3.45	4	○				
7											4.15	1/20	1	2/30	2		4.15	4	○				
8											4.45				38		4.45	5	○				
9											5.15	10	12	16	38/30		5.15	6	○				
10											5.45				52		5.45	7	○				
											6.15	16	16	18/9	50/29		6.15	8	○				2/12
											6.44				50		6.44	9	○				
											7.15	20	12	18	50/30		7.15	10	○				
											7.45				42		7.45	11	○				
											8.15	9	17	16	42/30		8.15	12	○				
											8.45				42		8.45	13	○				
											9.15	10	17	16	43/30		9.15	14	○				
											9.45				43		9.45	15	○				
											10.15	6	16	20	42/30		10.15	16	○				
											10.45				42		10.45	17	○				

ボーリング柱状図

調査名 設計委託 高等特別支援学校新築工事 (地質調査)

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 2		調査位置	宇都宮市京町			北緯	36° 33' 6.9"					
発注機関	栃木県			調査期間	平成 25年 2月 14日 ~ 25年 2月 15日		東経	139° 52' 16"					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者						
孔口標高	120.56m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試験機	TOHO-D0-D LxS0	ハンマー落下用具	半自動型ハンマー	
総掘進長	10.45m	度	0°	向				エンジン	NS-8		ポンプ	BG-3CL	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進 月日			
											深	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10								20		
120.26	0.30	0.30			盛土	暗黒褐			シルト・礫の混合土 含水低位 粘性低位		1.15	1	1	1	3/30	3		1.15	1	○					
119.86	0.40	0.70			表土	暗黒褐			旧表土でシルト主体 含水低位 粘性低位 上部若干の植物根混入する		1.45							1.45							
					ローム	茶褐			火山灰質粘性土 有機物・スコリア等多量に混入する 含水低位~中位 下部に硬い軽石多量に混入する		2.15	2	2	2	6/30	6		2.15	2	○					
117.86	2.00	2.70			軽石	黄褐			鹿沼軽石 粒径2~5mm程度 含水高位 若干風化帯びる		2.45							2.45							
116.96	0.90	3.60			ローム	茶褐			有機物・スコリア等多量に混入する 含水中位 粘性中位 下部に硬い砂分部分的に混入する		3.15	1/30			1/30	1		3.15	3	○					
											3.45							3.45							
115.66	1.30	4.90			砂礫	暗褐~暗茶褐			礫径最大80mm程度 礫径5~30mm程度の亜角礫主体 マトリックスは砂・シルトにて充填される 深度5.90~6.60m付近、径80mm程度の礫多量に混入する 深度9.80~10.45m付近、礫の含有率少なく砂分優位となる	2/15 6.75	4.15	2	2	2	6/30	6		4.15	4	○					
											4.45							4.45							
											5.15	14	15	16	45/30	45		5.15	5	○					
											5.45							5.45							
											6.15	36	14/5		50/15	100		6.15	6	○					
											6.30							6.30							
											7.15	15	16	17	48/30	48		7.15	7	○					
											7.45							7.45							
											8.15	21	29		50/20	75		8.15	8	○					
											8.35							8.35							
											9.15	18	18	14	50/30	50		9.15	9	○					
											9.45							9.45							
110.11	5.55	10.45									10.15	10	13	11	34/30	34		10.15	10	○					
											10.45							10.45							

ボーリング柱状図

調査名 設計委託 高等特別支援学校新築工事 (地質調査)

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 3		調査位置	宇都宮市京町			北緯	36° 33' 8.4"					
発注機関	栃木県			調査期間	平成 25年 2月 16日 ~ 25年 2月 18日		東経	139° 52' 16.9"					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者						
孔口標高	120.51m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	TOHO-D0-D LxS0	ハンマー 落下用具	半自動型ハンマー	
総掘進長	10.45m	度	0°	向				エンジン	NS-8		ポンプ	BG-3CL	

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取 番号	採取 方法	掘進 月日
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値	深 度 (m)						
120.31	0.20	0.20			盛土	暗褐 ~ 暗黒褐			シルト・礫の混合土 所々径20mm程度の礫混入 含水低位		1.15	1	2	30	2		1.15	1	○		
119.71	0.60	0.80			表土	暗黒褐			旧表土でシルト主体 上部植物根混入する 粘性中位 含水低位		1.45				2		1.45				
					ローム	茶褐		軟らかい	有機物・スコリア等多量に混入する 含水中位 下部に従い軽石多量に混入する		2.15	1	2	4	30	4	2.15	2	○		
117.71	2.00	2.80			軽石	黄褐		軟らかい	鹿沼軽石 粒径2~5mm程度 上部若干の風化帯びる 含水高位		3.15	1	2	30	2		3.15	3	○		
116.71	1.00	3.80			ローム	茶褐		軟らかい	含水中位 粘性中位 有機物・スコリア等多量に混入する 下部に従い所々砂分多量に混入得する		4.15	1	1	3	30	3	4.15	4	○		
115.61	1.10	4.90								2/18 6.80	5.15	12	23	15	50	56	5.15	5	○		
											5.42						5.42				
											6.15	25	20	5	50	65	6.15	6	○		
											6.38						6.38				
					砂礫	暗褐 ~ 暗茶褐		非常に密な 密な	礫径最大80mm程度 礫径5~30mm程度の亜円礫主体 マトリックスは砂・シルトにて充填 される 全体に締め度高い 深度5.80~6.60m付近径80mm程度の 礫混入 深度8.90~9.60m付近礫の含有率少 ない		7.15	12	17	16	45	45	7.15	7	○		
											7.45						7.45				
											8.15	14	17	16	47	47	8.15	8	○		
											8.45						8.45				
											9.15	10	11	9	30	30	9.15	9	○		
											9.45						9.45				
110.06	5.55	10.45									10.15	13	14	12	39	39	10.15	10	○		
											10.45						10.45				

ボーリング柱状図

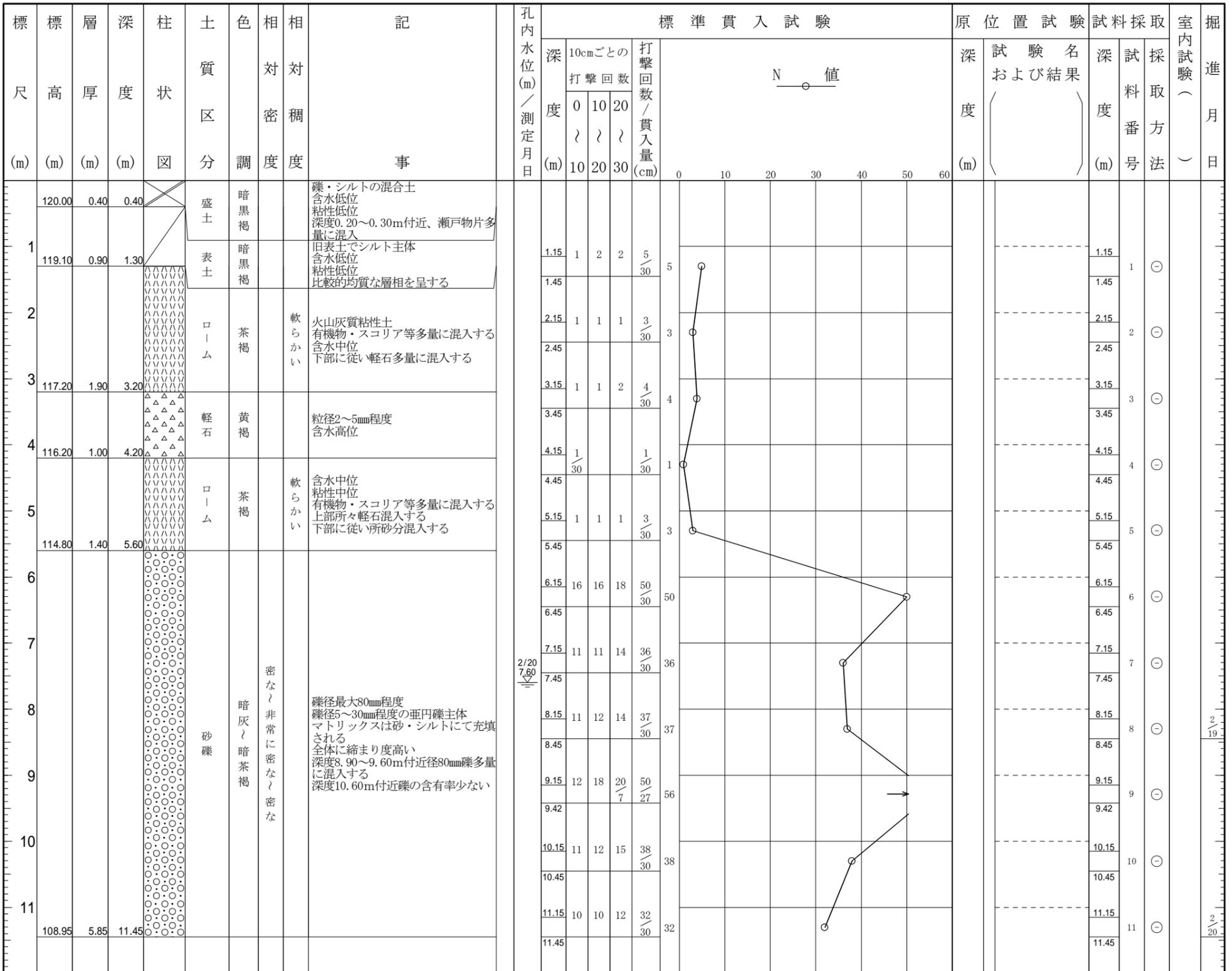
調査名 設計委託 高等特別支援学校新築工事 (地質調査)

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 4		調査位置	宇都宮市京町			北緯	36° 33' 7.4"					
発注機関	栃木県			調査期間	平成 25年 2月 19日 ~ 25年 2月 20日		東経	139° 52' 18.7"					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者						
孔口標高	120.40m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	TOHO-D0-D LxS0	ハンマー落下用具	半自動型ハンマー	
総掘進長	11.45m	度	0°	向				エンジン	NS-8		ポンプ	BG-3CL	



ボーリング柱状図

調査名 設計委託 高等特別支援学校新築工事 (地質調査)

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No. 5		調査位置	宇都宮市京町			北緯	36° 33' 8.1"			
発注機関	栃木県			調査期間	平成 25年 2月 21日 ~ 25年 2月 25日		東経	139° 52' 19.8"			
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	120.44m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	TOHO-D0-D LxS0	ハンマー落下用具	半自動型ハンマー
総掘進長	11.30m	度	0°	向				エンジン	NS-8	ポンプ	BG-3CL

